

ないゆきががんばぎ

『ココロトトノウ、俳句ごっこ』

感想続々きてます



天地成行・著

俳句
びんぎ

ココロトノウ



ちぎれ雲に
空が広すぎた

みなさん、こんばんは。おはようございます、またはこんにちは。天地成行です。秋のお彼岸に入り、おはぎをほおぼっているうちにめっきり朝晩が涼しくなりました。虫の音も美しい日々がやってきておりますみなさんの地域はいかがでしょう？ ネット情報ですが、おはぎは、あの出雲大社のオオクニヌシさまがお好きらしいです。出雲といえは、ぜんざいでも有名。スサノオさまの御子で、オオクニヌシさまの妻のスセリヒメの出生地としての言い伝えがある神西湖（じんざいこ）がなまつて、「ぜんざい」になったと思っていました。少しネット検索すると、神西では、古くから小豆を煮て餅を入れた汁を「じんざい」と呼び、それが出雲独特のズーズー弁で「ぜんざい」になったとか？ 諸説ありそうですが、とにかく食べたくなりますね。おはぎもぜんざいも（笑）。

さて、今号は前回でもご紹介した私の俳句エッセイ『ココロトトノウ、俳句ごっこ』の感想特集とまいります。東京、京都、鹿児島とたまたまに長い感想をいただきました。統合失調症仲間や会社元上司、親戚とこれまたバラエティにとんでいます。こういった長めの感想をいただける私は、阿東つばめ農園の無農薬有機玄米を夕食に丼一杯追加できます。それではどうぞ。

感想1・統合失調症 仲間 (鹿児島県)

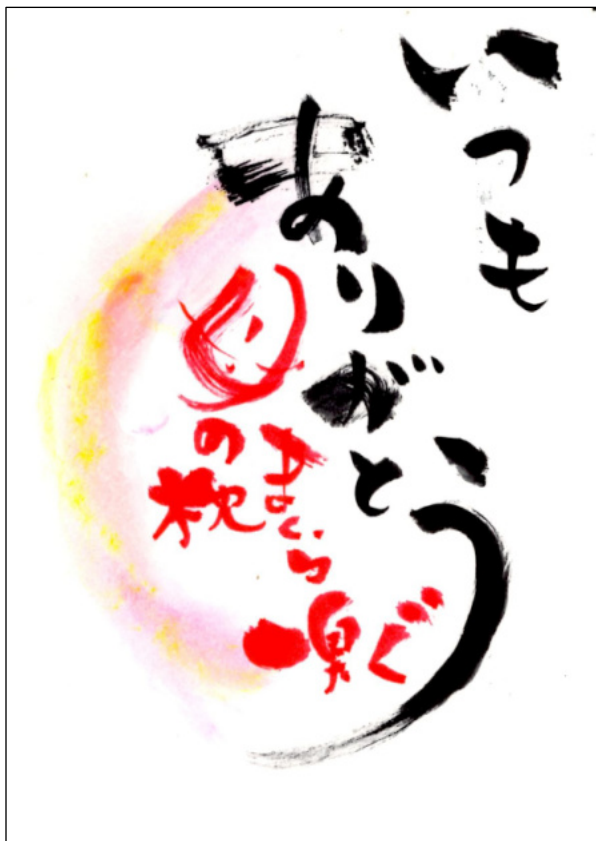
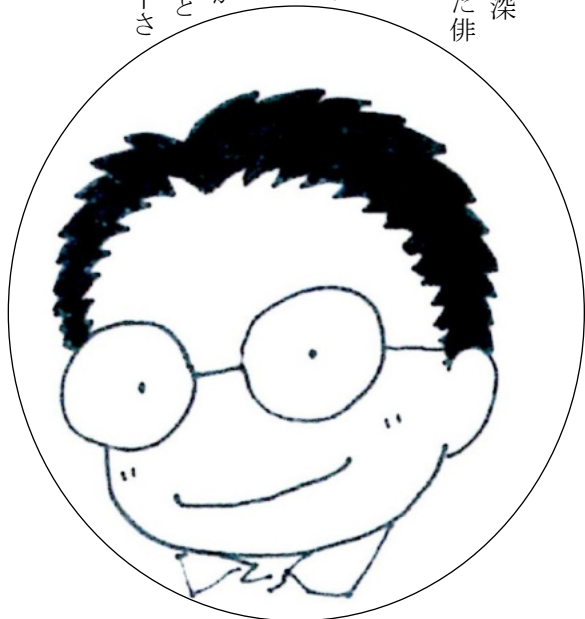
『ココロトノウ、俳句ごっこ』紙版完成、おめでとうございます。

私は、昨日のマンション内の掃除で、「今日は午前で帰りたい」と思うほど疲れ切っていました。そんな中、天地様の本が届き、なんだか、ほっこりいたしました。

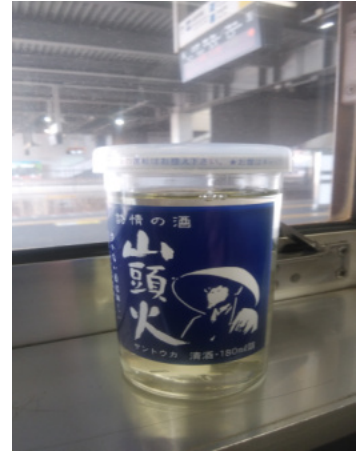
今月の初め、整形外科で引導を渡され、リハビリに励む日々であります。部屋の掃除も執筆も疎かになり、心もすさみきつていましたが、昨日、掃除を終えた時に、「心の安定は、部屋の整い方から」と、なんぞ怪しげな啓発本のような文句が浮かんできました。今は、風呂場の鏡のうるこ取りを早くやりたいと、休み時間に検索したやり方を、頭の中で反芻しております。

天地様はお母様をととても大切に思っているのだなあ、と深く思われました。俳句が丁寧に添削されていく様子もとても興味深く読めました。特別付録3の豆本にならなかった俳句は、とても楽しく読ませていただきました。

生きていくといろんなことがあって、投げ出したくなる日もあるけど、こうして天地様ががんばって仕上げた作品を読みながら、人生まだまだこれからだ、とがんばれる自分になれる、そんな本だと思います。これからもがんばって下さい。
い。(鹿児島県・A)



感想2・会社 元上司 (東京都)



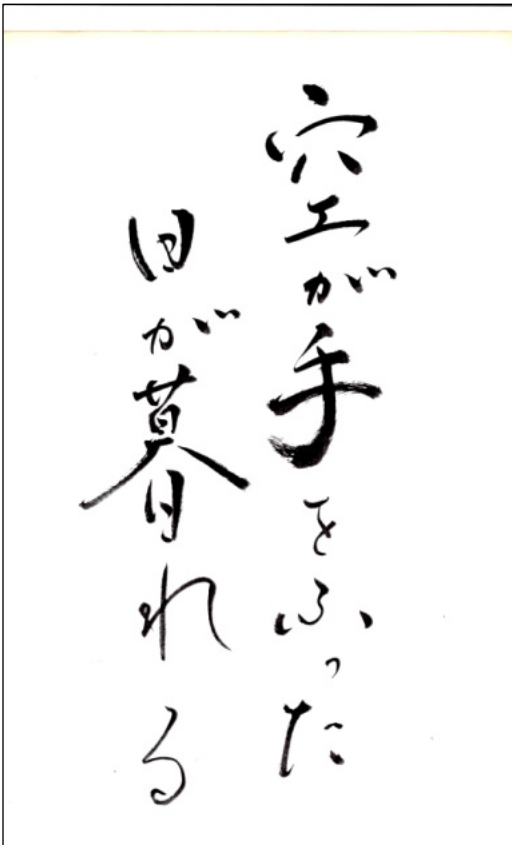
本書が、交友録であり成長譚であるのは皆さんの認める通りだが、俺は文芸と精神の関係を記した物語りだと感じた。そこに惹かれた。

なにより、まず自己分析に驚く。次に他者との関係性の築き方に驚く。師や友人に恵まれているのは、天地成行が自分を見つめながら、相手を認めていることに他ならない。

でも核心は、天地が言葉を自在に操り自己表白する人だから、それに共鳴・共振する人が寄ってくるのだと思う。にしても河村師匠は懐の深い自由人とお見受けした。

自由律、俳句、1行詩、散文：。天地もまた、あらゆる形に留まらない自由な表現者だと思った。でも形を知らないとはみ出すことが出来ないもんな。

やはり、詩歌文芸は、魂の救済であり、他者とつながる表現法だな。この本を読んで改めてそう確信した。どうかこれからも生真面目に野放図に書き続けてくれ。世界とつながることは、自分が自分であり続ける道だと思う。(東京都・会社元上司)



先日2時間くらいかけて一気に読みました。本のタイトルに納得です。

いろんな人が応援してくれているんだね。成行君の積極さに周りが応援してくれているんだと思います。

既に俳句がセラピーに使われていることは初めて知りました。

定型句と自由律

詩の違いも先生が語ってくれていますね。これから俳句を始める人にも、心を病んでいる人にも参考になると思います。

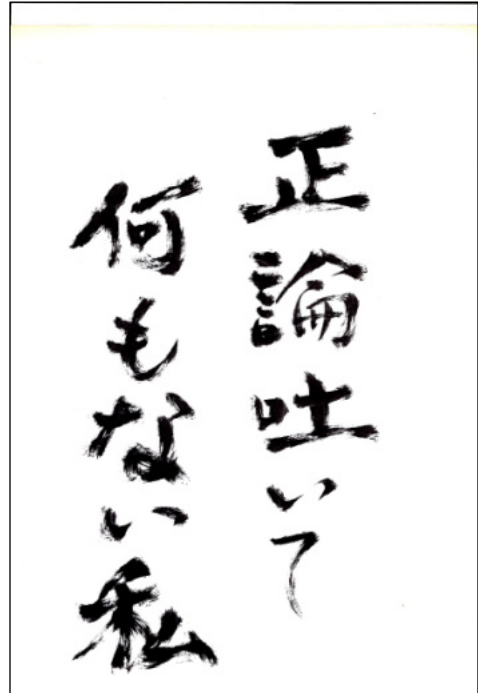
感想3・親戚 (京都府)

成行君の文書はほんとに読みやすいです。

最近はウイットも効いています。

「委員会」という会話形式も面白い方法ですね。

先生も成行君には自由律詩のほうがあっているかも、と言っていますが、心の様を表現している、表現できる境遇、という意味でそのの方が他にない強みになるかもね。
(京都府・T)



みんつど34号

～「ココロトウ、俳句と」感想号

編集：天地成行

原稿、写真、イラストなど
tenchi2020@outlook.jp
(天地成行) までお願いします

近刊！と「お発達精神」
「お互いを取の害の元新聞記者と
いう本が出版しますよ」といって
山口県を中心に映画コメンテーター・ディレクターとして活躍され、発達障害当事者でもある、大橋広宣さんとの共著で『精神疾患の元新聞記者と発達障害の元新聞記者がお互いを取の害の元新聞記者と』という本がロゼッタストーンから近く発売されます。次号以降で詳報します。